

関東ふれあいの道(千葉)⑤埴輪と遊ぶみち

2022年8月28日 池内淑皓

2022年5月3日晴れ。今まで歩いて来た北総地域から離れて、成田空港の東南側の山武市を九十九里方面に向かって歩くコースに設定されている。

千葉県山武市一帯は古墳の宝庫で、500基程の古墳が存在している。古代この辺りは、行政の中心地だと云う。教科書にも載る大型埴輪が近くで見学できると言う、楽しみだ。



「⑤埴輪と遊ぶみち」案内板（首都圏自然歩道連絡協議会）



「⑤埴輪と遊ぶみち」コース概略図



今日の鉄道最寄り下車駅は 柴山鉄道の柴山千代田駅
この鉄道は京成電鉄東成田駅から、芝山に向けて成田空港の地下を通り抜けて作られた



駅前から柴山ふれあいバスに乗り、芝山町役場に向かう、ここが今日歩くコースの出発地点。
役場には丁度 9 時に着くバスがあるから歩くには便利だ。



役場前の県道側には、コース案内板があるから十分確認して、道標に従って歩いてゆく



このコースは、真上が航空機の離発着コースとなっており、金属的な高い音が気になる



県道を離れて、観音教寺(柴山仁王尊)に向かう



観音教寺仁王門



「本堂」天応元年(781)藤原継縄が開基、天長6年(829)慈覚円仁が中興の祖。
鎌倉時代には千葉氏が祈願所として栄えた。80もの子院を数えたと言う



不動堂、元禄13年(1700年)建立



三重塔(文化文政の頃造営(1804) 県文化財



観音教寺と地続きに「柴山町はにわ博物館」がある
精巧で造形美に優れた埴輪が、ほぼ完全な形で発掘されたものが展示してある



博物館前の前方後円墳と出土した埴輪たち(実物は博物館に展示)。このように一列並んで発掘された



私も記念に一枚パチリ



馬の埴輪、完全な形で出土



人物埴輪(実物)。高等学校の教科書にも載っている



人物埴輪たち、表情がいいね。総て出土品



次の「殿塚・姫塚古墳」を訪ねに行こう。ここから 2km 離れている



道標がしっかり案内してくれる



「殿塚古墳」昭和 31 年の発掘調査で、多数の人物埴輪や動物埴輪が出土した
全長 88m、高さ 13m。6 世紀中旬の前方後円墳で、太刀や青銅の容器が出土



「姫塚古墳」全長 58m、高さ 6m。殿塚と対をなして築造されている馬子、馬、武人、巫女などが並び、葬列の埴輪と呼ばれている



姫塚から出土した勾玉類



古墳の周囲には「クマガイソウ」が咲いていた、この辺りはクマガイソウの群生地だと云う



「山室姫塚古墳」円墳で直径 85m、高さ 9 の円墳。周囲に 17 基の古墳が存在している



古墳群を離れて、道標に従って古和本郷の集落に向けて歩いて行こう



ゴールまでは里山の裾を縫うように歩いてゆく



山武市(さんぶし)は杉の名産地で、節の無い真っすぐな杉が有名



杉林を通り抜けたり



里道を歩いたり



今は田植えの真っ最中、親から子へ田植えの指導中かな



手植えの姿は珍しい、植え残した場所の補植だろう



逆さまの道標であるが、道しるべの方角は正しい、作り方を間違えたのだ



里道はあちこち道が分岐するから、石柱の道標をたてて、分かるようにしてある



千葉東金高速道路を潜るとゴールが近い



ゴールの古和本郷バス停前に到着、ここには次回コースの案内板が設置されている

[参考タイム] 柴山千代田駅(9:10)→柴山仁王尊(観音教寺)(9:30-9:45)→埴輪博物館(9:50-10:22)
→殿塚・姫塚古墳(10:50-10:55)→山室古墳(11:45-11:50)→古和本郷バス停ゴール(12:10)

この項完

「関東ふれあいの道(千葉)⑥山武杉のみち」に続く